



小学校高学年《5・6年生》のみなさんへ

冬休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2016年版]

	書名 作者名 出版社	内容
絵本	「発見!古典はおもしろい 1巻」  ぞくつとするこわい話 面谷 哲郎 文 水野 ぷりん 絵 偕成社	落語や民話のもととなった四話をえらび、なじみのない古典を、イラストを取り入れ、やさしい語り口でしょうかいしています。 古典を楽しみながら読んで、興味をもつきっかけ作りとなる絵本です。
絵本	「ガラパゴス」  ジェイソン・チン 作 福岡 伸一 訳 講談社	かつて、ガラパゴス諸島のある島には、地球上でここにしかそんざいしない生きものたちが住み続けていました。 その島が、生まれてから600万年の時をへて、海底へ消えていくまでの一生をえがいています。
図書	「ハムレット」  ウィリアム・シェイクスピア 原作 斉藤 洋 文 佐竹 美保 絵 あすなろ書房	父である国王の死と、母の早すぎる再婚を知り落ちこむハムレットは、夜な夜なあらわれる国王のゆうれいから、国王を殺した犯人の事を聞いてしまい……。シェイクスピア原作の、四大悲げきのひとつ「ハムレット」を、読みやすく小説にしています。
図書	「十角館の殺人」  綾辻 行人 著 講談社	切り立ったガケで囲まれた島をおとずれた、K大学ミステリ研究会7人の目当ては、半年前に四重殺人事件が発生した、十角形のきみょうな館でした。そんな島で、一週間を過ごそうとしていたかれらをおそう、連続殺人のナゾとは？
図書	「泥だらけのカルテ」  柳原 三佳 著 講談社	東日本大しん災で、みずからも災害に見まわれながら、必死でひろい集めた泥だらけのカルテが、遺体の身元かくくにんに役立ちました。行方不明者を家族の元へ帰しつづける、歯科医師の3年間を追っています。

	書名 作者名 出版社	内容
図書	「しめかざり」  森 須磨子 文・絵 福音館書店	お正月にかざるしめかざりは、作られる地いきやかざる場所、作る人によって色々な形があります。変わった形のものや、とても大きいものなどと共にしめかざりの作り方をしょうかいしています。
図書	「よりぬきマザーグース」  谷川 俊太郎 訳 鷺津 名都江 編 岩波書店	マザーグースは、イギリスで古くから伝わっている童ようとして親しまれています。子供向けだけではなく、大人も楽しめる遊びの歌、素敵な歌、残こくな歌など、有名な50編を選び英語の原詩と共に、かんたんな解説ものせられています。
図書	「妖怪アパートの幽雅な日常 1」  香月 日輪 著 講談社	小さいころ、両親を事故でなくしたタ士(ゆうし)は、高校入学と同時に、下宿生活を始めました。ところが、そのアパートは、ちょっと変わった「住人たち」がくらす、人情味あふれる場所だったのです。
図書	「ヒット商品研究所へようこそ!」  「ガリガリ君」「瞬足」 「青い鳥文庫」は こうして作られる こうやま のりお 著 講談社	だれもが知っているベストセラーの商品はどのようにして生まれてくるのでしょうか。どんな工夫やキッカケがあるのかを、それぞれの商品を作り上げている大人たちの仕事ぶりといっしょに、しょうかいしています。
図書	「迷宮ヶ丘1丁目 窓辺の少年」  日本児童文学者協会 編 スカイエマ 絵 偕成社	カサをわすれた彩乃(あやの)が美術室にもどると、ひそひそと話し声が聞こえてきました。部屋には優菜(ゆうな)しかいないはずなのに……。作家5人による、不思議な物語集です。